



# げんき100年ライフ株式ファンド 人生100年産業の幕開け

**朝倉氏:**皆さん、こんにちは。高齢化の進展でかつてない長寿社会が到来した今、老後に備えるための資産運用の在り方に一層関心が高まっています。こうした中、投信業界の中でも「人生100年時代」への対応で先進的な取り組みを行う運用会社として注目されるのが、三井住友アセットマネジメントです。

本日は、同社の松下隆史代表取締役社長 兼 CEOに、人生100年時代における具体的な取り組みと、このたび設定した新ファンドの魅力などについてお伺いしたいと思います。松下社長、どうぞよろしくお願いいたします。

**松下:**どうぞよろしくお願いいたします。

**朝倉氏:**まず、人生100年時代といわれるようになりましたが、2017年の日本人の平均寿命は男性が81.09歳、女性が87.26歳と、いずれも過去最高を更新。男性は約4人に1人が90歳、女性は約4人に1人が95歳まで生きるとされており、確実に長寿化が進展しております。長寿化が進む中、運用も資産の寿命を延ばすことが重要であるといわれていますが、このあたりについてご説明いただけますでしょうか？

**松下:**本当に私たちの仕事というのは、ますます重要度を増してきていると感じています。これからは、単に健康で長生きするだけではなく、いかに第二の人生を謳歌するか

ということが非常に大切になってくると考えています。

当社ではいち早く、お客さまのQOL、すなわち、クオリティ・オブ・ライフということに着目いたしまして、その向上に資産運用の面から大きく貢献したいと考えています。人生の楽しみ方や、理想の人生を叶えるための手段としての資産形成を紹介する、QOLについてのセミナーなどを実施してまいりました。

**朝倉氏:**こうした中、注目されるのが9月19日に設定されました「げんき100年ライフ株式ファンド」。ネーミングがいいですね。

**松下:**ありがとうございます。

**朝倉氏:**人生100年時代を意識された日本株のアクティブファンドですが、このファンド設定の背景、コンセプトについてご説明をいただきたいと思います。

**松下:**ファンド設定の背景で一番重要なのは、健康・長寿社会の到来、テクノロジーの変化によって変貌しつつあるヘルスケアビジネスの拡大への期待ということであります。このビジネスを、当社では「人生100年産業」と名付けています。テクノロジーの進化にともないまして、人生100年時代においてヘルスケアビジネスというのは、単なる健康志向から、健康増進、予防、あるいは、老後の趣味、生きがいにもまで広がってきました。テクノロジーの進化がもたらす高度医療も、ヘルスケアビジネスに大きく貢献していくと考えています。

世界に先駆けて高齢化社会を迎えている日本の「人生100年産業」は、今後、海外でも大きく活躍できると期待しています。



## 松下 隆史

三井住友アセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長 兼 CEO

日本政府は医療・健康分野を成長戦略の重要な柱として位置付けており、当ファンドの投資対象銘柄は、産業育成政策等の恩恵も十分に受けられると考えています。

QOLの向上に寄与するファンドという観点では、長寿社会においては資産の寿命も伸ばす必要があるというのは、朝倉社長のおっしゃるとおりです。そのためにはまず、運用で資産を増やすということが重要かと思っています。私も、ぜひ、このような、人生に寄り添うファンドを作っていきたいと考えています。

**朝倉氏:**ありがとうございます。今、ご説明いただきました新規設定の「げんき100年ライフ株式ファンド」ですが、実際に運用を行うマザーファンドは設定が2013年12月と、すでに5年近くの実績があります。マザーファンドは設定来、過去1年、過去3年でも、いずれもベンチマークのTOPIX（配当込み）を上回り、大変良好なパフォーマンスを達成されています。このパフォーマンスの達成につきましては、当然、

運用や調査の体制が非常に重要になってくるわけですが、このあたり、いかがでしょうか？

**松下:**ありがとうございます。運用を担当しておりますのは、上村シニアファンドマネージャーと申しまして、成長企業の発掘に強みを持つ、ベテランのファンドマネージャーです。27年の豊富な運用経験があり、一貫して日本株のアクティブ運用に携わっております。

また、リサーチ体制につきましても、約20名のアナリストがおり、平均の調査経験年数は17年です(※2018年7月1日現在)。充実した調査体制を引き続き維持し、**アクティブ株運用に強みを持つ運用会社**として、良好なパフォーマンスをこれからもしっかりと続けていきたいと考えています。

**朝倉氏:**今、ご説明いただきました運用・調査体制、これが大変充実されていることで、高い運用実績を上げられているんですね。2018年6月末時点のマザーファンドのポートフォリオをしてみると、中型株の比率が30%、小型株の比率が57%と、約9割を中小型株が占

めています。中小型株は情報が少ないので、調査力が非常に重要だと思います。さきほどご紹介いただいた充実した調査体制が十二分に発揮されているのだと感じました。

三井住友アセットマネジメントが運用する国内中小型アクティブファンドは10本ありますが、その中で7本、比率にして7割がなんとモーニングスターレーティング4つ★以上です。通常、モーニングスターのレーティングは、4つ★、5つ★は全体の32.5%しかないので、三井住友アセットマネジメントはその反対で7割が4つ★、5つ★。そういった意味でも、中小型株の運用について、非常に高い運用力を有する会社であるといえるのではないかと思います。

また、この比率ですが、レーティング付与対象ファンド5本以上の運用会社は13社あり、三井住友アセットマネジメントは4つ★、5つ★の比率がその中でもトップです。まさに、**日本の中小型株の運用に大変優れた実績を上げられている**ということが評価できるのではないかと思います。

## 図表:マザーファンドの運用実績の推移

2013年12月19日(設定日の前日)～2018年6月29日



(注1) マザーファンドのパフォーマンスは当ファンドの信託報酬(税込み年1.5444%)を控除して試算。

(注2) TOPIX(配当込み)は運用上の目標となるベンチマークです。

※上記は過去のデータを基に委託会社が行った試算の結果であり、当ファンドの運用実績ではありません。また将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは7ページおよび投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## <年率リターン>

	マザーファンド	TOPIX (配当込み)
1年	20.7%	9.7%
3年	13.8%	4.2%
設定来	19.1%	9.5%

【データ期間】

1年:2017年6月30日～2018年6月29日

3年:2015年6月30日～2018年6月29日

設定来:2013年12月19日～2018年6月29日



## 朝倉 智也氏

モーニングスター株式会社  
代表取締役社長

こうした運用力を活かした「げんき100年ライフ株式ファンド」をこれから世に広めていかれるわけですが、最後に、ぜひ投資家の方に、松下社長からメッセージをお願いいたします。

**松下:**いつも高い評価をいただいております。大変ありがとうございます。

今後、長寿化が一段と進展する中で、ヘルスケアビジネスを中心とした「人生100年産業」は、一過性ではなく大変息の長いテーマになってまいります。生活の質を向上させる投資は、成熟社会においては不可欠の原動力となります。人生100年産業の幕開けにふさわしいファンドとして「げんき100年ライフ株式ファンド」にぜひ注目していただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

**朝倉氏:**松下社長、本日はどうもありがとうございました。

**松下:**ありがとうございました。

## (追加情報)

### 図表:<マザーファンドの運用実績の推移>

2013年12月19日(設定日の前日)~2018年10月31日



(注1) マザーファンドのパフォーマンスは当ファンドの信託報酬(税込み年1.5444%)を控除して試算。

(注2) TOPIX(配当込み)は運用上の目標となるベンチマークです。

※上記は過去のデータを基に委託会社が行った試算の結果であり、当ファンドの運用実績ではありません。また将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。

※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは7ページおよび投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### <年率リターン>

	マザーファンド	TOPIX (配当込み)
1年	-4.6%	-4.8%
3年	10.3%	4.0%
設定来	15.3%	7.8%

【データ期間】

1年:2017年10月31日~2018年10月31日

3年:2015年10月30日~2018年10月31日

設定来:2013年12月19日~2018年10月31日



## ファンドの特徴 (詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。)

1.日本の取引所に上場している株式の中から、医療・介護分野において、日本の産業育成政策等の成長戦略の恩恵を受けると判断される銘柄に投資を行います。

■中長期的にTOPIX (東証株価指数、配当込み) を上回る投資成果を目指して運用します。

2.銘柄選択にあたっては、日本の成長戦略に関連する事業に着目し、時価総額、流動性を勘案の上、収益成長性および財務健全性等を分析し組入銘柄を決定します。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## ファンドのリスクおよび留意点 (詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。)

### 基準価額の変動要因

ファンドは、主に日本の株式を投資対象としています (マザーファンドを通じて間接的に投資する場合を含みます。)

ファンドの基準価額は、組み入れた株式の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化等の影響により上下します。**基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。

運用の結果としてファンドに生じた**利益および損失は、すべて受益者に帰属**します。したがって、ファンドは**預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく**、一定の投資成果を保証するものでもありません。ファンドの主要なリスクは、以下の通りです。

※基準価額の主な変動要因として、○株式市場リスク、○信用リスク、○市場流動性リスク等があります。詳しくは「投資信託説明書 (交付目論見書)」の投資リスクをご覧ください。また、分配金/特定の業種・テーマへの集中投資に関する留意点についても「投資信託説明書 (交付目論見書)」の該当箇所をご覧ください。

## お申込みメモ (詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。)

購入・換金の 申込受付日	いつでも購入、換金の申込みができます。
購入単位	販売会社または委託会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額となります。
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額(0.15%)を差し引いた価額となります。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目以降にお支払いします。
決算および分配	年2回(毎年6月および12月の20日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
信託期間	2018年9月19日から2028年6月20日まで
繰上償還	委託会社は、受益者にとって有利であると認めるとき、残存口数が10億口を下回ることとなったとき、その他やむを得ない事情が発生したときは、あらかじめ受益者に書面により通知する等の所定の手続きを経て、繰上償還させることがあります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」、未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA(ニーサ)」の適用対象です。ただし、販売会社によっては当ファンドをNISA、ジュニアNISAでの取扱い対象としない場合があります。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用が可能です。 ※上記は作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。

## ファンドの費用 (詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

### ①投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に <b>3.24%(税抜き3.0%)を上限</b> として、販売会社がそれぞれ別に定める手数料率を乗じた額。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金時:1口につき、換金申込受付日の基準価額に <b>0.15%</b> の率を乗じた額

### ②投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に <b>年1.5444%(税抜き1.43%)</b> の率を乗じた額
その他の費用・ 手数料	上記のほか、ファンドの監査費用や有価証券の売買時の手数料、資産を外国で保管する場合の費用等(それらにかかる消費税等相当額を含みます。)が信託財産から支払われます。これらの費用に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用状況により変化するため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。

※ファンドの費用(手数料等)の合計額、その上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。

## 委託会社、その他の関係法人

委託会社	三井住友アセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図等を行います。 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 フリーダイヤル:0120-88-2976 受付時間:営業日の午前9時~午後5時 ホームページ:http://www.smam-jp.com
受託会社	三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管および管理等を行います。)
販売会社	委託会社にお問い合わせください。(ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。)

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業 協会	備考
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第3号	○				
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第8号	○				
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号	○				
ちばざん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第114号	○				
八十二証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第21号	○		○		
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○		○		
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1771号	○				
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第199号	○				
株式会社京葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第56号	○				
株式会社富山銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第1号	○				
株式会社東日本銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第52号	○				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	○			○	

作成基準日: 2018年11月1日現在

### 【重要な注意事項】

- ◆当資料は三井住友アセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- ◆当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- ◆投資信託は、値動きのある証券(外国証券には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- ◆当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書(交付目論見書)と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)が優先します。投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。
- ◆当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

資産形成なら **SMAM** 

Sumitomo Mitsui Asset Management